

# 篠田総合病院 認知症疾患医療センター アルツハイマー病治療新薬「レカネマブ(製品名レケンビ)」の治療の流れ

ここではレケンビによる治療をご希望される方が、初めて当院を受診されてから実際の薬剤投与までの流れを説明いたします。

当院では、認知症疾患医療センター(精神科)と脳神経外科がチームとなって診療にあたっていきます。

## 1. 受診まで

認知症疾患医療センター(精神科)の初診外来を予約・受診して頂きます。  
(かかりつけの医療機関がある場合は、紹介状(診療情報提供書)を依頼して持参して下さい)  
既に当院の他の診療科に通院中の方は、担当医にご相談下さい。

## 2. 受診

通常、初診外来の診療を受けて頂きます。  
初診時には、

- ・診察
- ・神経心理学的検査
- ・脳MRI 等

を数日に分けて受けて頂きます。



## 3. 治療対象の判定(第一段階)

レケンビによる治療の**対象**と判定される場合

検査結果の説明の後、「アミロイドベータの蓄積を調べる検査」に移ります

レケンビの投与対象は臨床診断に加えて、脳へのアミロイドベータの蓄積が認められることと厳格に規定されています



裏面へ

レケンビによる治療の**対象外**と判定される場合

(一例として)

- ・原因がアルツハイマー病でない場合
- ・認知症の程度が中等度以上の場合
- ・脳MRIにおいて治療による副作用のリスクが高い所見を認めた場合



通常、診療を提供させて頂くか、紹介先の医療機関での診療を継続して頂きます。

## 4.治療対象の判定(第二段階)

### 「アミロイドβの蓄積を調べる検査」

アミロイドβの蓄積を証明する検査として、

・アミロイドPET(核医学検査) → 他の医療機関への紹介となります  
(厚生仙台クリニック)  
【3割負担 約46,000円 1割負担 約15,000円】 ※キャンセル時注意

・髄液検査 → 当院で1泊2日の入院が必要となります  
【3割負担 約21,000円+食事代 1割負担 約7,000円+食事代】

のどちらかの検査を受けて頂く必要があります。

## 5.検査結果の説明

初診時の診察とその後の全ての検査の結果を総合的に判断し、レケンビの投与の対象に該当するか否かの説明をいたします。また、レカネマブの治療適用がないと判定された場合には、どのような予防策・治療法を講じることができるかを説明いたします。

## 6.投与開始

治療適用があると判定され、投与を希望された方には

初回のみ2泊3日の入院(投与後の副反応を確認します)で投与となります。

【3割負担 約63,000+食事代 1割負担 約21,000+食事代】

※体重50kgの方の場合の薬液費用1回分137,331円込み

2回目以降は外来処置室(内科ブース)で、2週間ごとに点滴静注(約1時間)を行います。(4回目投与までは、投与後1時間の経過観察を行います)

なお、投与開始後は脳の腫れや出血などの副反応が生じる可能性があるため、定期的な脳MRI検査を行います。



## 7.薬液の費用負担

レケンビの投与に関する費用は、

患者さんの保険証の負担割合で変わりますが、高額療養費制度の利用が可能です。

(ただし、入院と外来では同月の診療でも別々に扱われます)

①70歳未満(所得区分ウ)or70歳以上(所得区分現役並みI)の方の場合

1ヶ月の限度額  $80,100円 + (月総医療費 - 267,000円) \times 1\%$  約80,100円

②70歳以上(所得区分一般)の方の場合

1ヶ月の限度額18,000円 [※年間上限 144,000円]

原則とされている治療期間18ヶ月で

①の場合 初回入院63,000円+80,100円×4ヶ月(入院月外来分込)+44,400×14ヶ月  
=63,000円+320,400円+621,600円=1,005,000円 約100万円

②の場合 初回入院21,000円+144,000円(12ヶ月分)+18,000×6ヶ月  
=21,000円+144,000円+108,000円= 273,000円 約28万円